

常磐文藝

風他一篇 志摩田春夫

風よ
お、風よ
技をならし葉をゆすり
草に囁いて
渡つて来る風よ
今は優しくさなり乍ら
静かに山々を洗つてゐる

詩のかける喜び
自然の中から美を見出して
歌ふこの喜びは
神が我々に下さつた最大の
ものだ

詩一つ 志摩田春夫
遠くの間々々
雲に蔽はれた紫色の姿で
静かに霞んで見ゆる
山と山が重なり合つて
その間から炭焼の煙がゆ
るく立昇つてゐる
真晝の山々が長閑に眠つ
てゐる美しきよ

故タイ新盆に就ては提灯
其他供物御贈與の儀は時
節柄に付き一切御辭退申
上度く此段御諒察願上候
平町三丁目
渡邊政五郎

亡父新盆に就ては提灯其他
供物御贈與の儀の甚だ乍勝
手御辭退申上候間不惡御諒
知の程御願上候
田町
森本盛一

亡夫大隆院の新盆に就ては
その遺言に基き提灯其他の
供物御贈與の儀一切御辭退
申上度く何卒此段惡しから
ず御承知の程御願申上候
平町三丁目丸又
久野喜久子

謹啓時下酷暑之候益々御清榮之段奉賀候
陳者亡妻新盆に就ては提灯其他供物御贈
與の儀は甚だ勝手なる次第に御座候へ共
御辭退申上候間不惡御諒知被下度奉願上
候 敬具
大正十四年八月廿二日
平町長橋町
宗形忠次郎

中元奉仕割引會
お買上げ一割引
五圓以上一割引
舊七月一日ヨリ五日間
「開店七十年祝として、紀念賣出しをする
豫定であつたのをその期を得ず七十二年の
このお盆に奉仕的賣出しを決定いたしました
是非仕着せ物や
御贈答品
この機を御利用下さつてこの催しを有効に
終らして戴きたう存じます」
亀田屋呉服店
平町三丁目(電話五十七番)

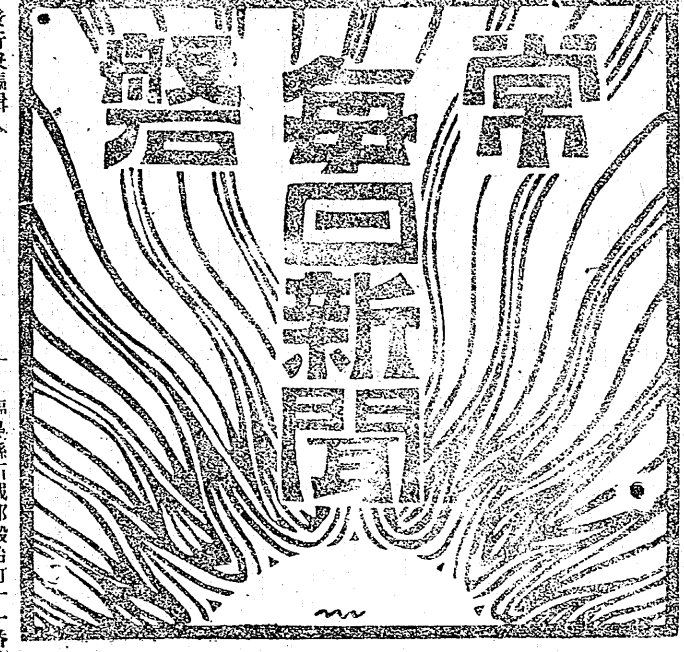
開業
(用入生書)
山本齒科醫院
齒科醫山本正惠
平町白銀町(平驛前通)

平町屋吉田眼科醫院
今年亡母貞草院の新盆に相當仕候へ共
遺言に據り提灯其他の御贈與品總べて御
辭退申上度く此段不惡御諒知奉願上候
平町四丁目
星野庸治

柏傳の
全刺子染料
柏屋染料店
國産ミルク粉
おしどり印(半ポンド入)
粉ミルク(半ポンド入)
コーヒー入(半ポンド入)
コ、ア入(半ポンド入)
日本製乳會社が多年製造し
て居りましたが愈々豊富に
製造品優良なる舶來品に優
るもので弊舖の確信する處
一度御試用を乞ふ
平町二丁目
西村屋藥舖

看護婦派出所
の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

齒科平町森合齒科醫院



刊夕日四十二月八

常磐論壇
農村振興問題(二)
政界通人
◇或る一派の人々は農村救
濟策の最なるものとして地
方自治團體に恒久的財源を
與へる事を主張してゐる即
ち地租委譲論である、地租
委譲の論據は是に依つて負
擔を緩和し負擔の緩和に依
つて農村の窮乏を救済しや
うといふのである
◇然しながら地租は七千四
百萬圓である、國庫の收入
がこれだけ減する以上その
補填の財源が明示されなけ
ればならぬ、然らば委譲
論者より未だ會て具體的に

これを聞いたことがない我
々は斯かる抽象的議論に價
値を見出すことは出来ない
彼等の云ふ所が如何に抽象
的であるかはその委譲さる
地租といふ財源が府縣に
委譲されるのか、市町村に
委譲されるのか、それさへ
はつきり云つてゐるものが
ないのである
◇が、それはしばらく惜く
として彼等の云ふ所——即
ち地租を委譲すれば地租七
千四百萬圓が直に地方農民
の負擔から減するといふの
は大いなる誤りでこの點は
彼等の誤解を正して置く必
要があると思ふ
◇地租を委譲するといふ事

は決して直にそれだけ國民
の負擔を軽減するものでは
ないのは申迄もない何とな
れば地租を収むる地主は、そ
れが國稅である地方稅で
あるとに拘らずとにかく七
千四百萬圓だけは負擔させ
られるのである
◇そして加ふるに、この七
千四百萬圓といふ國庫收入
減は何等かの方法に依つて
即ち新稅に依つてこれを補
填しなければならぬので
あるから、これ亦間接に負
擔から免れることは出来な
いのである



發行兼編輯人 川崎文治
印刷所 本報專屬印刷所
福島縣石城郡飯沼町十一番地

常磐片々
政府は煙草値上の決心を固めた
然も其理由に曰く品質を良くする為めと
ベラボーメイ、安からう悪からうとあきらめて吸つて居た煙草だ
何も此不景氣に殊更ら値上までして品質を良くする必要は認めぬ
いくら煙草だからつて國民を煙に巻いて馬鹿にするに程がある

電報信紙の別な式様に改正
逓信省では豫てから電報規則全般に亘つて改正をなすべく審議中のところこの程程いよ決定をみたので二十二日の官報で公布し来る十一月一日から實施することになつたが今度の規則改正の中心は主に電信局内部の利便を圖るため即ち新印字機や各種送受信器に適當にするために作業を單純化して能率を擧げるためのものが多く一般には些して影響が少い

一、頼信紙の改良
一、和文電報中に歐字及びアラビア數字歐文記號の混用禁止
一、略號登記配達先登記局渡電報の料金納付を年一回と變更
合一般に影響するものあり殊に従来の遅延承知扱(符號アラ)の指定は頼信紙の余白に記入するだけでよくなり外に特殊取扱中の利用僅少なる左記電報は廢止することになつた
至急親展 指定ウニ
返信至急 同 ナム
返信照投 同 ナム
同文連名 同 ヨイ
停車場揭示 同 ムツ
著局特定 同 ラホ
別使料電報報知 同 マノ
別使料郵便報知 同 マヨ

坂本博士講演
内郷村出身の
明夜平町にて
石城郡内郷村大字小島の出身にて警中卒業後永く米國に留學せる支那同文書院教授哲學博士坂本義孝氏は此程久し振りにて歸省せる爲め平町青年團にては明二十五日午後七時より郡會議室にて同氏の『支那問題に就いて』の講演會を開く由である因に坂本博士は國際聯盟締結に際しては我國使節の一行に加はり世界の外交

一萬圓の調達方法
石城郡青年團が
石城郡聯合青年團にては公民教育資金の寄附として割當てられた一萬圓の調達方法に關し來月早々評議員會を招集して協議する由
平町人事
出生
△四丁目一七 石川啓次郎氏五男八郎
△鎌田町四二 草野葉子(二つ)
△柳町四 小野新八郎(九つ)

破天荒と驚く
近來用紙や印刷代が一般に値下げされた結果文部省でも來年度から尋常小學國語讀本及尋常小學讀本各卷の一を除く
外全部 尋常小學理科書は各學年用全部の國定

一日一言
龜田屋若主人 三森虎雄氏
不景氣の打開策は協力一途以外に何もものもない、徒らに同業相喰ひ醜い競争等は最も避くべきである、處で三丁目は四丁目と共に聯合の賣出しを開始した、是れが非常に氣受けて好く投資りであるに拘らず賣上も意外に多く各商店は先づ以つて此益を凌ぎやがて來るべき冬仕度も苦しまずに出來る丈の確信がついた

大小種々の犯人等
留置場と云はず事務室と
秋のダリアは
一しきり全盛を極めたお庭のダリアがこの頃は、すっかり衰へて花も少なくなつて來ました。このまゝに



危かつた
辛じて救はる
石城郡平窪村杉内松本徳一氏方雇人が十二歳の少年を
ておけばまず、花は悪るくなりツボミは出て花が咲かなくなり、これをもう一度景氣よく咲かせる方法があります、それは今咲いてゐるダリアの莖を下から三節目か四節目で切りとつて了ふのです、また枝は一節残して切ります、切るのはなるべく天氣のよい

恨みの益首
兄の家前で
平町月見町町非貞吉の縁弟長次郎(三)は戸籍上は無籍者であるが實は貞吉の實父猪之吉の後妻の子であつて五年前迄には腹違ひの縁兒である處から貞吉の許にも出入して居たが性來の放蕩にて貞吉の云ふ事も聽かず無断で家出し行術不明となり各地を流浪して遂に失業の結果貞吉の許に歸らんとせざるも寄せつけられざるを恨み廿三日午前三時頃貞吉方前の柿の木にて益首を遂げた

數島は廿錢に
教科書が一錢安
何れも大體決定
大藏省專賣局に於ては煙草の値上問題に就ては度々協議を重ねつゝある事は既報の通りであるが右會議の模様によれば税制改革の結果酒税率の引上が行はれた今日であるから煙草の値上を行つても國民の反對はあるまいと云ふ

恩典に
の浴するこ
とになつたが平町の某書店主は語る
『こんな一時に値下するのは文部省として近來の

落盤を冠る
坑夫の重傷死
石城郡湯本町大字湯本字八仙柄木縣生れ入山炭礦坑夫田谷光太郎は廿二日午前八時頃同炭礦坑内にて落盤を

年少子女の上にも
食ひ入つた社會相
警察事故から見て
云はす所狭き迄の混雜を來してゐるが殊に最近に於ける世相の一反映として見るべしは比較的的地方には珍らしき年少者の犯行が近來往々行はるゝことで蓋し苦し

放さう男が
恨みの益首
兄の家前で
平町月見町町非貞吉の縁弟長次郎(三)は戸籍上は無籍者であるが實は貞吉の實父猪之吉の後妻の子であつて五年前迄には腹違ひの縁兒である處から貞吉の許にも出入して居たが性來の放蕩にて貞吉の云ふ事も聽かず無断で家出し行術不明となり各地を流浪して遂に失業の結果貞吉の許に歸らんとせざるも寄せつけられざるを恨み廿三日午前三時頃貞吉方前の柿の木にて益首を遂げた